

# 平成28年度 学校評価実施報告書

## 2 2回目評価

・個別評価項目の設定及び各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定			
分野	評価項目	(1回目評価を踏まえた)年度末までの取組	(取組結果を検証する)アンケート項目・各種指標
確かな学力	授業改善	・思考力・判断力・表現力等を高めるためのシンキングツールの積極的かつ有効的な活用	・各クラスでのシンキングツール活用状況 ・子どもには考える力が身に付いていますか。
	家庭学習の習慣化	・自分で課題を見つけ取り組む自主学習の定着化 ・家庭学習の見直し	・家での勉強時間はどれくらいですか。 ・家でどのように勉強をしていますか。
	学習規律の確立	・「話す・聞く」から、相手に伝わるように「話す」、話し手の内容を理解して「聞く」を目指した取組	・話をしっかり聞いていますか。
豊かな心	「公共の精神」に基づく態度の育成(関係を大切に)	・地域との関係づくり ・地域行事の参加 ・児童会が司会進行を担う四者協議会の開催	・地域行事の参加 ・地域行事での活動状況 ・四者協議会の活動状況
	感動できる子	・活動の振り返りを行い、発表や体験活動を通して、感動を表現する場の設定	・自分の考えを発表していますか。
	感謝できる子	・PTA挨拶運動 ・学校及び地域でのルール、マナーについての振り返りと学級指導	・自分から進んで挨拶をしていますか。 ・挨拶など、地域での子どもたちの態度はよいか。
健やかな体	自他を大切に する態度の育成	・生活アンケートの実施 ・生活点検	・何時に寝ましたか。/起きましたか。 ・朝/昨夜、歯みがきをしましたか。 ・ハンカチ・ティッシュはポケットに入っていますか。
	体力の向上	・クラブ活動や部活動の充実 ・朝ランニング	・クラブ活動/部活動は楽しいですか。 ・朝ランニング参加状況
独自の項目	図書館指導の充実	・図書館終日開放 ・学校司書との連携 ・放課後まなび教室での図書貸出	・図書館利用状況
	情報発信の充実	・積極的なホームページの更新	・学校ホームページの更新状況

## 3 総括・次年度の課題

本校の強みの一つとして、地域が学校の子どものよき応援団となっていることがあげられる。今年度の学校評価の結果からも、地域行事へ子どもたちが積極的に参加している様子がうかがえる。また、学校での授業では、比較的规则をよく守り、人の話を聞くことができるという結果が出ている。一方で、自分の考えをしっかりと持ち、表現していく力はまだまだ育っていない現状がある。日々の生活においては、夜遅くまで起きていて生活リズムが乱れる傾向のある子どもがみられる。こういったことから、学校と保護者、地域が引き続き連携して、子どもたちを見守り、育てていく視点を持ち続けることが大切であると考え。学力においても、継続して取り組んでいるシンキングツールのさらなる活用等を通して、積極的に働きかける必要がある。

## 学校名(京都市立池田東小学校)

・アンケート実施結果、 その他指標の結果について整理	自己評価	
	評価日	平成29年3月7日
	評価者・組織	学校評価委員会
アンケート結果・各種指標結果	分析(成果と課題)	分析を踏まえた改善策
・全学年でシンキングツールを活用。クラスの実態に合わせてアレンジしながら使用。 ・身に付いている78.8%	学習活動でのシンキングツール活用が各学年で広く行われているが、低学年での活用が難しい面がある。	各学年の実態に合わせて活用する必要があり、他学年や次年度以降も活用できるようにデータなどを共有できるようにしていく。
・「1時間以上」57.9% ・「自分で考えてしている」47.1%	家庭での勉強時間は「1時間以上」が14.8%減っているが、「自分で考えてしている」が1.6%増えている。勉強方法にも慣れてきて、宿題以外の学習の時間が増えている。	家庭学習の手引きを振り返り、家庭での学習の仕方や内容(どんなことができるかなど)を振り返り、実践へとつなげていく。
・「聞いている」58.4% ・「だいたい聞いている」36.6%	全体の約95%が「聞いている」「大体聞いている」と答えている。聞く姿勢は確立しているが、引き続き聞き取った内容の理解については課題が残る。	聞く姿勢は習慣化できてきたので、ただ何となく聞くのではなく、「聴き取る」力を身に付けていく。
・低学年の地域行事参加者の増加 ・児童会の提案のもと挨拶についての四者協議会実施。	児童の地域行事への参加が増えた。高学年児童が司会を担うことで高学年の参加も増えつつある。	地域行事や児童集会、朝会で高学年児童が司会を担うことは、下の学年の児童にとってもよい見本となっている。今後とも学校と地域との連携を図り継続していく。
・「すすんでしている」34% ・「時々している」39.9%	7月より1.2%増えている。「していない」児童は6.3%減っており、少しずつ発表できる児童が増えている。	授業での発表の場を設定する。シンキングツールを活用し、自分のおもいや考えを言葉で表現する力を付けていく。
・「自分からすすんで挨拶している」79.8% ・「そう思う」21.6% ・「大体そう思う」63.4%	引き続き「自分からすすんで挨拶している」児童が約8割おり、高学年を中心に挨拶が定着してきた。	高学年を中心に挨拶の習慣化が定着してきている。低学年へのよい見本にもなっており、児童会や委員会などとも連携し、より取組を広め推進していく。
・「10時までに寝た」55.8% ・「7時までに起きた」66.4% ・「朝歯みがきをしている」84.3% ・「夜歯みがきをしている」91.5% ・「ハンカチ・ティッシュがポケットに入っている」40.7%	ほとんどの児童は登校時間に間に合っているが寝る時刻は高学年になるほど遅く、睡眠時間が十分に取れていない。 朝歯みがきをしていない児童が約10%もあり、洗面をせずに登校している。低学年児童の歯みがきの習慣 ハンカチ・ティッシュは、点検週間になると意識して持ってくるのが習慣化できていない。	高学年になるにつれて習い事で遅く帰ってくる児童もいるがテレビやゲームの時間が減って就寝時刻が遅くなっている児童が多い。歯みがきやハンカチ・ティッシュを持つ習慣についても養護職員や保健委員会と連携し呼びかけや取組を進めていく。
・「楽しい」85.1% ・「まあまあ楽しい」14% ・1~4年 登録者51% 参加者88% ・5・6年 登録者100% 参加者99%	クラブ活動/部活動は99.1%の児童が楽しいと答えている。朝ランニングについては高学年が週3回は全員参加の結果、山科川駅伝で上位に入ることができた。1~4年生は週2回希望制で約50%参加している。高学年の頑張りが他学年にも影響している。	クラブ活動・部活動については、引き続き心と体を鍛えながら、楽しむことができるよう努めていく。 朝ランニングについて、高学年は全員参加、1~4年生は希望制だが、高学年の姿を見て参加する児童が増えている。週2・3回のランニングが定着しつつある。個に応じた目標を設定し体力向上に努めていく。
・学校図書館を利用した調べ学習の頻度が高くなった。 ・学校司書来校日に読み聞かせを実施。 ・(週2回) ・放課後まなび教室へ月30冊貸出 継続中	調べ学習でPC室でのインターネット検索と学校図書館での図書検索とを並行して行う学年が増えた。週2回学校司書による読み聞かせを継続して行うことで学校図書館の利用者が増えた。	学校司書との連携を図り、各クラスでの読み聞かせや図書館での読み聞かせ等の取組を継続する。担任との連携を図り、授業での効果的な利用を進めていく。
・ほぼ毎日更新 ・宿泊行事の時は閲覧数が高い	ほぼ毎日更新できている。 ・宿泊学習の時は活動が終わるごとに更新し状況を伝えることができていた。	各学年偏りなく更新できるよう毎日発信していく。

学校関係者評価	
評価日	平成29年3月10日
評価者 (いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
学校関係者による意見	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策
子どもが授業の目標を具体的にわかるようにする。	児童理解に努め、学級の実態に合わせた授業になるようさらに工夫していく。
集中して長い時間取り組むことが少ない。	家庭学習の手引きについて、年度当初に配布し、具体的にアドバイスできるようにする。
引き続き、子どもの意見を認め、褒めてあげる。	聞いたことが理解できているかどうかを確認することが必要である。引き続き、褒めることで自信が持てるようにしていく。
たくさんの児童が地域行事に参加してくれる。お互いに誘い合って参加している。	たくさん参加してくれることは地域にとっても嬉しい。町会費については子どもの責任ではないが、PTAや保護者同士で話題にしてみたい。
目標を語ったり、話したりできるとより良い。	自信をもって話すことができるよう、ツールの活用などを工夫し、さらに発表する機会を多く力を付けるよう取り組んでいく。
あいさつの声や表情で元気かどうかかわかる	以前に比べ、挨拶できる子が増えた。挨拶しなかった子も毎日挨拶することで次第に返すようになってきた。
朝、眠そうに登校してくる児童が多い。 暗くなっても遊んでいる児童がまだ見られる。	交通ルールや遊び時間のルールなど、日々意識して繰り返し学級でも指導をしていく。
高学年だけでなく、低学年も積極的に参加している。	目標をもたせることで、意欲になる。しんどいことをがんばる子になるようにしていきたい。
放課後まなび教室への図書の貸し出しを続けてもらっている。	放課後まなび教室への図書貸出を継続するとともに、学校司書と連携し、授業でも効果的に図書の活用ができるように工夫していく。
各学年の様子がよくわかった。	学校や学級の様子がよりわかるホームページの更新を継続していく。